

～下記の研究を行います～

『病棟薬剤師による病棟薬剤業務として注射用抗菌薬への全例介入に向けた取り組み』

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

この研究は、「後ろ向き観察研究」と呼ばれる研究手法を用いて、通常の診療で得られた情報の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

【研究課題名】病棟薬剤師による病棟薬剤業務として注射用抗菌薬への全例介入に向けた取り組み

【研究の主宰機関】国立病院機構大阪医療センター

【研究責任者】柴野理依子

【研究の目的】抗菌薬の適正使用を推進するため、当院では2015年6月中旬より病棟薬剤師による注射用抗菌薬の全例確認を開始した。この取り組みを評価したので報告する。

【研究の期間】2015年2月から5月、2015年7月から2016年6月

【研究の方法】

●対象となる患者さん

「2015年2月～5月」と「2015年7月～2016年6月」の間に当院において注射用抗菌薬を処方された患者さん（全3687例）

●利用するカルテ情報

①患者基本情報：性別、年齢、体重

②疾患情報：使用された抗菌薬、抗菌薬の使用目的、血液検査値（血清クレアチニン値）

【データの保管期間と廃棄方法について】本研究のデータは電子カルテ上に保存します。集積したデータは、連結可能匿名化とし、解析データにおいては、患者ID、生年月日、氏名などの個人を特定できる情報を削除し、統計解析を実施します。

診療情報は、試験終了後2年間保存し、保存期間の終了後、匿名のまま廃棄します。

『個人情報の取り扱いについて』

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

『本研究の資金源について』

資金源はありません。

～お問い合わせや研究対象となることを拒否される場合は下記連絡先までお願いします～

国立病院機構大阪医療センター 薬剂部

TEL (06) 6942-1331 (代)

研究責任者 薬剂部 薬剂師 柴野理依子